

# 令和6年度 静岡県立大学年間授業予定表

2024年4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		2025年1月		2月		3月					
日	曜日																										
1	月	1	水	1	土	1	月	1	木	1	日	1	火	1	火	1	日	1	水	1	水	1	土	1	土		
2	火	2	木	2	日	2	火	2	金	2	月	2	水	2	水	2	月	2	木	2	木	2	日	2	日		
3	水	3	金	3	月	3	水	3	土	3	火	3	木	3	木	3	火	3	火	3	金	3	月	3	月		
4	木	4	土	4	火	4	木	4	日	4	水	4	金	4	金	4	水	4	水	4	土	4	火	4	火		
5	金	5	日	5	水	5	金	5	月	5	木	5	土	5	土	5	木	5	木	5	日	5	水	5	水		
6	土	6	月	6	木	6	土	6	火	6	金	6	日	6	日	6	金	6	金	6	月	6	木	6	木		
7	日	7	火	7	金	7	日	7	水	7	月	7	月	7	月	7	月	7	土	7	火	7	金	7	金		
8	月	8	水	8	土	8	月	8	木	8	火	8	火	8	火	8	日	8	土	8	水	8	土	8	土		
9	火	9	木	9	日	9	火	9	金	9	水	9	水	9	水	9	月	9	木	9	木	9	日	9	日		
10	水	10	金	10	月	10	水	10	土	10	木	10	木	10	木	10	火	10	金	10	金	10	月	10	月		
11	木	11	土	11	火	11	木	11	日	11	水	11	金	11	金	11	水	11	土	11	土	11	火	11	火		
12	金	12	日	12	水	12	金	12	月	12	火	12	土	12	土	12	木	12	日	12	日	12	水	12	水		
13	土	13	月	13	木	13	土	13	火	13	金	13	金	13	金	13	日	13	土	13	土	13	木	13	木		
14	日	14	火	14	金	14	日	14	水	14	月	14	月	14	月	14	土	14	火	14	火	14	金	14	金		
15	月	15	水	15	土	15	月	15	木	15	火	15	火	15	火	15	日	15	土	15	土	15	土	15	土		
16	火	16	木	16	日	16	火	16	金	16	水	16	水	16	水	16	月	16	木	16	木	16	日	16	日		
17	水	17	金	17	月	17	水	17	土	17	木	17	木	17	木	17	火	17	金	17	金	17	月	17	月		
18	木	18	土	18	火	18	木	18	日	18	水	18	金	18	金	18	水	18	土	18	土	18	火	18	火		
19	金	19	日	19	水	19	金	19	月	19	木	19	木	19	土	19	土	19	木	19	木	19	水	19	水		
20	土	20	月	20	木	20	土	20	火	20	金	20	金	20	日	20	水	20	金	20	金	20	木	20	木		
21	日	21	火	21	金	21	日	21	水	21	月	21	月	21	月	21	木	21	土	21	土	21	金	21	金		
22	月	22	水	22	土	22	月	22	木	22	火	22	火	22	火	22	日	22	木	22	木	22	土	22	土		
23	火	23	木	23	日	23	火	23	金	23	水	23	水	23	水	23	月	23	金	23	金	23	日	23	日		
24	水	24	金	24	月	24	水	24	土	24	木	24	木	24	木	24	日	24	土	24	土	24	金	24	金		
25	木	25	土	25	火	25	木	25	日	25	水	25	水	25	水	25	月	25	日	25	日	25	土	25	土		
26	金	26	日	26	水	26	金	26	月	26	木	26	木	26	土	26	火	26	金	26	金	26	水	26	水		
27	土	27	月	27	木	27	土	27	火	27	金	27	金	27	日	27	水	27	土	27	土	27	木	27	木		
28	日	28	火	28	金	28	日	28	水	28	月	28	月	28	月	28	土	28	金	28	金	28	金	28	金		
29	月	29	水	29	土	29	月	29	木	29	火	29	火	29	日	29	日	29	土	29	土	29	土	29	土		
30	火	30	木	30	日	30	火	30	金	30	水	30	水	30	月	30	木	30	木	30	木	30	木	30	日	30	日
31	水	31	金	31	月	31	水	31	土	31	木	31	木	31	火	31	金	31	金	31	金	31	金	31	月	31	月
前期及び通年科目の履修登録(下旬まで)		TOEIC-IPテスト(初旬)																									
【対象者】 全学部の1,2年生		【対象者】 全学部の1,2年生		【対象者】 全学部の1,2年生		【対象者】 全学部の1,2年生		【対象者】 全学部の1,2年生		【対象者】 全学部の1,2年生		【対象者】 全学部の1,2年生		【対象者】 全学部の1,2年生		【対象者】 全学部の1,2年生		【対象者】 全学部の1,2年生		【対象者】 全学部の1,2年生		【対象者】 全学部の1,2年生		【対象者】 全学部の1,2年生			
【対象者】 全学部の1年生、 国際関係学部2年生		【対象者】 全学部の1年生、 国際関係学部2年生		【対象者】 全学部の1年生、 国際関係学部2年生		【対象者】 全学部の1年生、 国際関係学部2年生		【対象者】 全学部の1年生、 国際関係学部2年生		【対象者】 全学部の1年生、 国際関係学部2年生		【対象者】 全学部の1年生、 国際関係学部2年生		【対象者】 全学部の1年生、 国際関係学部2年生		【対象者】 全学部の1年生、 国際関係学部2年生		【対象者】 全学部の1年生、 国際関係学部2年生		【対象者】 全学部の1年生、 国際関係学部2年生		【対象者】 全学部の1年生、 国際関係学部2年生		【対象者】 全学部の1年生、 国際関係学部2年生			

※印の日は入試のため大学構内への入構制限あり。一般学生は入構できません。

赤字 は、主な行事、注意が必要な休講日、入構禁止日  
 青字 は、変更日程  
 は休業日  
 は通常授業が行われない日

2024年度 大学院 国際関係学専攻 時間割表 (前期) (2024年度以後入学生)

専攻	時限	火			水			木			金		
		科目名(教員名)	教室	期間	科目名(教員名)	教室	期間	科目名(教員名)	教室	期間	科目名(教員名)	教室	期間
国際関係学専攻	1	前期: 国際社会学研究ⅢA (二羽)			前期: 中国政治外交研究A (大野)			前期: コミュニケーション研究ⅡA (飯野前)					
		前期: 国際社会学研究ⅢA (二羽)			前期: 日本政治外交研究ⅠA (前山)			前期: 国際社会学研究ⅡA (石井)					
	2	前期: 国際社会学研究ⅠA (飯野亮)			前期: 現代社会学研究ⅢA (坪田)			前期: 国際社会学研究ⅡA (菅沢壽)					
		前期: 国際社会学研究ⅠA (飯野亮)			前期: 文化人類学研究法A (菅沢壽)		調整中	前期: 国際社会学研究ⅡA (石川)					
	3	前期: 現代社会学研究ⅡA (渡邊)			前期: 国際政治研究A (小瀬)			前期: 国際社会学研究ⅡA (菅)					
4	前期: 現代社会学研究ⅠA (大塚)			前期: 国際政治研究ⅠA (佐藤)			前期: 国際社会学研究ⅡA (宮崎)						
5	前期: 国際社会学研究A (小瀬)			前期: 朝鮮半島政治外交研究A (奥重)			前期: 地域研究A (山本)						
		前期: 国際社会学研究A (須田)		前期: 朝鮮半島政治外交研究A (奥重)			前期: コミュニケーション研究ⅡB (飯野前)						
1	前期: 外国語教育研究A (須田)			前期: 国際社会学研究A (孫)			前期: 第二言語習得研究A (寺尾)						
		前期: 英語圏語論研究A (須田)		前期: 比較思想研究A (木澤)			前期: 韓国朝鮮史研究A (小針)						
2	前期: 英語圏語論研究A (須田)			前期: 比較思想研究A (木澤)			前期: フランスマス文学研究A (西村)						
		前期: 英語圏語論研究A (須田)		前期: 比較思想研究A (木澤)			前期: 日本語表現特異研究A (澤崎)						
		前期: 英語圏語論研究A (須田)		前期: 比較思想研究A (木澤)			前期: 日本語表現特異研究A (澤崎)						
		前期: 英語圏語論研究A (須田)		前期: 比較思想研究A (木澤)			前期: 日本文学史研究A (鈴木)						
		前期: 英語圏語論研究A (須田)		前期: 比較思想研究A (木澤)			前期: 英語学専攻A (田村)						
3	前期: 比較言語研究A (長野)			前期: 比較文化研究A (吉田真)			前期: ユーロパ思想研究ⅡA (藤川)						
		前期: 比較言語研究A (長野)		前期: 比較文化研究A (吉田真)			前期: 日本語学教育研究ⅡA (酒井)						
		前期: 比較言語研究A (長野)		前期: 比較文化研究A (吉田真)			前期: 中国文化研究A (美藤)						
		前期: 比較言語研究A (長野)		前期: 比較文化研究A (吉田真)			調整中						
4	前期: 日本文学研究ⅡA (細川)			前期: 比較宗教研究A (吉田真)									
		前期: アジア地域研究A (塩崎)		前期: 東南アジア文化研究A (米野)									
		前期: ロシア文化研究A (広岡)		前期: 英米文化研究A (米山)									
		前期: 英語意味論研究A (田村)		前期: 朝鮮半島政治外交研究A (奥重)									
5	前期: 日本語学研究ⅠA (竹部)			前期: イギリス文化研究A (有元)									
		前期: アメリカ文化研究A (望戸)		前期: アメリカ社会史研究A (望戸)									
		前期: アメリカ文化研究A (望戸)		前期: アカデミック・イングリッシュⅠA (100)									
		前期: アメリカ文化研究A (望戸)		前期: ドイツ文化研究ⅠA (フエファ)									

【注】 教室は、特別の指示がない限り教員研究室とする。  
各研究分野の演習Ⅰ、Ⅱは開講曜日と時間を指導教員と相談して決定する。

国際関係学演習ⅠA	日本文化演習ⅠA
国際関係学演習ⅡA	日本文化演習ⅡA
	アジア文化演習ⅠA
	アジア文化演習ⅡA

英米文化演習ⅠA	ヨーロッパ文化演習ⅠA
英米文化演習ⅡA	ヨーロッパ文化演習ⅡA
	英語教育演習

2024年度 大学院 国際関係学専攻 時間割表 (後期) (2024年度以後入学生)

専攻	時限	月			火			水			木			金			
		科目名(教員名)	教室	期間	科目名(教員名)	教室	期間	科目名(教員名)	教室	期間	科目名(教員名)	教室	期間	科目名(教員名)	教室	期間	
国際関係学専攻	1	後期: 国際社会学研究II B (二羽)															
		後期: 国際社会学研究II B (坂野光)			後期: 中国政治外交研究B (大野)			後期: 日本政治外交研究II B (森山)									
	2			後期: 行動計量学研究B (坪田)			後期: 国際社会学研究II B (石井)										
	3			調整中			後期: 現代社会学研究III B (坪田)			調整中							
	4			後期: 現代社会学研究II B (渡邊)			後期: 文化人類学研究B (菅沢壽)			後期: 国際社会学研究II B (石川)							
比較文化専攻	1	後期: 国際政治学研究B (小瀧)			後期: 国際政治学研究I B (佐藤)			後期: 国際政治学研究II B (山本)									
		後期: 外国語教育研究B (須田)			後期: 朝鮮半島政治外交研究B (奥重)			後期: 第二言語習得研究B (寺尾)									
	2			後期: 現代東情アジア研究B (植崎)			後期: 比較思想研究B (木澤)			後期: 韓国朝鮮社会文化研究B (小針)							
		後期: 英語統語論研究B (須田)			後期: ユーロッパ文化研究I B (柳村)			後期: 比較文化研究B (吉田真)			後期: フランス文化研究I B (柳村)						
	3			後期: アカデミック・イングリッシュII B (伊藤)			後期: 比較文化研究B (木澤)			後期: 華僑・華人文化研究B (宗倉)							
比較文化専攻	1			後期: ユーロッパ文化研究II B (松森)			後期: 華僑・華人文化研究B (宗倉)			後期: 言語機能論研究B (長野)							
		後期: 英語統語論研究B (須田)			後期: 現代東情アジア研究B (植崎)			後期: 比較文化研究B (吉田真)			調整中						
	2			後期: 日露関係研究B (堀内)			後期: ユーロッパ文化研究II B (松森)			後期: 比較文化研究B (木澤)							
		後期: 英語統語論研究B (須田)			後期: ユーロッパ文化研究I B (柳村)			後期: 比較文化研究B (木澤)			調整中						
	3			後期: 日露関係研究B (堀内)			後期: ユーロッパ文化研究II B (松森)			後期: 比較文化研究B (木澤)							
比較文化専攻	1			後期: 日露関係研究B (堀内)			後期: ユーロッパ文化研究II B (松森)			後期: 比較文化研究B (木澤)							
		後期: 英語統語論研究B (須田)			後期: ユーロッパ文化研究I B (柳村)			後期: 比較文化研究B (木澤)			調整中						
	2			後期: 日露関係研究B (堀内)			後期: ユーロッパ文化研究II B (松森)			後期: 比較文化研究B (木澤)							
		後期: 英語統語論研究B (須田)			後期: ユーロッパ文化研究I B (柳村)			後期: 比較文化研究B (木澤)			調整中						
	3			後期: 日露関係研究B (堀内)			後期: ユーロッパ文化研究II B (松森)			後期: 比較文化研究B (木澤)							

【注】 教室は、特別の指示がない限り教員研究室とする。  
各研究分野の演習I、IIは開講曜日と時間を指導教員と相談して決定する。

国際関係学演習I B	英米文化演習I B
国際関係学演習II B	英米文化演習II B
	ヨーロッパ文化演習I B
	ヨーロッパ文化演習II B
	英語教育演習

2024年度 大学院 国際関係学専攻 時間割表 (前期) (2023年度以前入学生)

専攻	時限	火			水			木			金		
		科目名(教員名)	教室	期間	科目名(教員名)	教室	期間	科目名(教員名)	教室	期間	科目名(教員名)	教室	期間
国際関係学専攻	1	前期: 国際社会学研究ⅢA (二羽)			前期: 中国政治外交研究A (大野)			前期: コミュニケーション研究ⅡA (飯野前)					
		前期: 国際社会学研究ⅢA (二羽)			前期: 日本政治外交研究ⅠA (前山)			前期: 国際社会学研究ⅡA (石井)					
	2	前期: 国際社会学研究ⅠA (飯野亮)			前期: 現代社会学研究ⅢA (坪田)			前期: 国際社会学研究ⅠA (菅沢壽)					
		前期: 国際社会学研究ⅠA (飯野亮)			前期: 文化人類学研究ⅠA (菅沢壽)			調整中					
	3	前期: 現代社会学研究ⅡA (渡邊)			前期: 国際政治学研究ⅢA (小籠)			前期: 国際政治学研究ⅡA (山下)					
	前期: 現代社会学研究ⅡA (大塚)			前期: 国際政治学研究ⅢA (小籠)			前期: 国際政治学研究ⅡA (石川)						
	4	前期: 現代社会学研究ⅠA (大塚)			前期: 国際政治学研究ⅠA (佐藤)			前期: 広域ヨーロッパ研究A (荻)					
		前期: 現代社会学研究ⅠA (大塚)			前期: 朝鮮半島政治外交研究A (奥重)			前期: 国際経営研究ⅡA (宮崎)					
	5	前期: 国際社会学研究A (小籠)			前期: 文化人類学研究ⅡA (孫)			前期: 地域研究A (山本)					
		前期: 国際社会学研究A (小籠)			前期: 文化人類学研究ⅡA (孫)			前期: コミュニケーション研究ⅡB (飯野前)					
比較文化専攻	1	前期: 外国語教育研究A (須田)			前期: ヨーロッパ文化研究ⅠA (御持)			前期: 第二言語習得研究A (寺尾)					
		前期: 外国語教育研究A (須田)			前期: スペイン文化研究ⅡA (松森)			前期: 韓国朝鮮史研究A (小針)					
	2	前期: 英語統語論研究A (須田)			前期: 現代東南アジア研究A (塩崎)			前期: フランスマス文学研究A (西村)					
		前期: 英語統語論研究A (須田)			前期: アカデミック・イングリッシュⅡA (伊方)			前期: 日本語表現特異研究A (澤崎)					
		前期: 英語統語論研究A (須田)			前期: ヨーロッパ思想研究ⅠA (松森)			前期: 日本文学史研究A (鈴木)					
		前期: 英語統語論研究A (須田)			前期: ヨーロッパ思想研究ⅠA (松森)			前期: 英語学研究A (田村)					
	3	前期: 比較言語研究A (長野)			前期: 比較文化研究A (菅野)			前期: イギリス社会史研究A (栗田)					
		前期: 比較言語研究A (長野)			前期: 比較文化研究A (菅野)			前期: フランス文化研究ⅠA (御持)					
	4	前期: 日本文学研究ⅡA (細川)			前期: 比較宗教研究A (吉田真)			前期: 人間科学研究A (園田)					
		前期: 日本文学研究ⅡA (細川)			前期: 東南アジア文化研究A (米野)			調整中					
		前期: アジア地域研究A (塩崎)			前期: 英米文化研究A (米山)								
		前期: ロシア文化研究A (広岡)			前期: 朝鮮半島政治外交研究A (奥重)								
	5	前期: 英語意味論研究A (田村)			前期: イギリス文化研究A (有元)								
		前期: 英語意味論研究A (田村)			前期: アメリカ社会史研究A (望戸)								
		前期: 日本語学研究ⅠA (竹部)			前期: アカデミック・イングリッシュⅠA (伊方)								
		前期: アメリカ文化研究A (望戸)			前期: トイツ文化研究ⅠA (フアヴァー)								

【注】 教室は、特別の指示がない限り教員研究室とする。  
各研究分野の演習Ⅰ、Ⅱは開講曜日と時間を指導教員と相談して決定する。

国際関係学演習ⅠA	日本文化演習ⅠA
国際関係学演習ⅡA	日本文化演習ⅡA
	アジア文化演習ⅠA
	アジア文化演習ⅡA

英米文化演習ⅠA	英米文化演習ⅡA
ヨーロッパ文化演習ⅠA	ヨーロッパ文化演習ⅡA
ヨーロッパ文化演習ⅡA	英語教育演習

2024年度 大学院 国際関係学専攻 時間割表 (後期) (2023年度以前入学生)

専攻	時限	火			水			木			金		
		科目名(教員名)	教室	期間	科目名(教員名)	教室	期間	科目名(教員名)	教室	期間	科目名(教員名)	教室	期間
国際関係学専攻	1	後期: 国際社会学研究III B (二羽)											
		後期: 国際社会学研究III B (坂野光)			後期: 中国政治外交研究B (大野)			後期: 日本政治外交研究II B (森山)					
	2	後期: 行動計量学研究B (坪田)			後期: 日本政治外交研究I B (前山)			後期: 国際社会学研究II B (石井)					
		後期: 現代社会学研究II B (渡邊)			後期: 現代社会学研究III B (坪田)			後期: 文化人類学研究I B (菅沢壽)					
	3	調整中			後期: 文化人類学研究III B (英)			調整中					
	4	後期: 現代社会学研究I B (大塚)			後期: 国際政治学研究III B (英)			後期: 国際社会学研究II B (石川)					
		後期: 現代社会学研究II B (小瀧)			後期: 国際政治学研究I B (佐藤)			後期: 国際社会学研究II B (高須)					
	5	後期: 政治学研究B (小瀧)			後期: 国際政治学研究I B (佐藤)			後期: 地域研究B (山本)					
		後期: 外国語教育研究B (須田)			後期: 朝鮮半島政治外交研究B (奥重)			後期: 第二言語習得研究B (寺尾)					
	1	後期: 英語統語論研究B (須田)			後期: スペイン文化研究II B (松森)			後期: 韓国朝鮮史研究B (小針)					
		後期: 現代東情アジア研究B (塩崎)			後期: 現代東情アジア研究B (木澤)			後期: フランスマン文学研究B (西村)					
	2	後期: アカデミック・イングリッシュII B (伊藤)			後期: 比較文化研究B (木澤)			後期: 日本語表現特異研究B (澤崎)					
		後期: ヨーロッパ思想研究I B (松森)			後期: ヨーロッパ思想研究II B (フアイファー)			後期: 韓国朝鮮社会文化研究B (小針)					
					後期: 比較文化研究B (雷澤か)			後期: 英米文化研究B (澤田)					
					後期: 日本文化研究B (木澤)			後期: 英米文化研究II B (田村)					
	3	後期: 比較言語研究B (長野)			後期: 華僑・華人文化研究B (奈倉)			後期: 日本文学史研究B (鈴木)					
		後期: 英米社会文化研究B (澤田)			後期: 言語機能論研究B (長野)			後期: 英語学研究B (田村)					
		後期: ヨーロッパ文化研究II B (藤川)						後期: ヨーロッパ思想研究II B (藤川)					
		後期: ドイツ文学研究B (小谷)						後期: 英米文化研究B (森)					
					後期: 比較宗教研究B (吉田真)			後期: エギリス社会史研究B (栗田)					
	4	後期: 日本文学研究I B (細川)			後期: 東南アジア文化研究B (米野)			後期: フランス文化研究I B (柳村)					
		後期: アジア地域研究B (塩崎)			後期: 英米文化研究B (米山)			後期: 人間科学研究B (橋本)					
		後期: ロシア文化研究B (広岡)						調整中					
		後期: 英語意味論研究B (田村)											
	5	後期: 日本語学研究I B (竹部)			後期: 朝鮮半島政治外交研究B (奥重)								
		後期: アメリカ文化研究B (望戸)			後期: イギリス文化研究B (有元)								
					後期: アメリカ社会史研究B (望戸)								
					後期: アカデミック・イングリッシュII B (伊藤)								
					後期: ドイツ文化研究I B (フアイファー)								

【注】 教室は、特別の指示がない限り教員研究室とする。  
各研究分野の演習I, IIは開講曜日と時間を指導教員と相談して決定する。

国際関係学演習I B  
国際関係学演習II B

日本文化演習I B  
日本文化演習II B  
アジア文化演習I B  
アジア文化演習II B

英米文化演習I B  
英米文化演習II B  
ヨーロッパ文化演習I B  
ヨーロッパ文化演習II B  
英語教育演習

ファイルワーク

国際関係学研究科研究分野別教員名簿

国際関係学専攻					
研究分野	職名	氏名	研究室	オフィス・アワー	専門分野
国際政治・ 開発研究分野	教授	坂巻 静佳	2508	前期:月曜・5時限 後期:水曜・4時限	国際法
	教授	前山 亮吉	2605	水曜・3時限	比較政治学, 日本政治史, 政治制度論
	教授	森山 優	2404	水曜・3時限	日本近現代史(政治・外交史)
	教授	山下 光	3306	木曜・5時限	国際政治学, 安全保障・平和研究
	准教授	石川 義道	3308	火曜・2時限	国際経済法
	准教授	小窪 千早	3305	月曜・3時限	国際政治学, 欧州の政治・安全保障, フランス現代政治
	准教授	佐藤 真千子	3208	火曜・2時限	アメリカ政治外交, 国際関係論
	准教授	浜 由樹子	3310	木曜・3時限	国際政治学, ロシア地域研究
	准教授	宮崎 晋生	3302	金曜・2時限	経営学, 国際経営論
	講師	飯野 光浩	3309	金曜・4時限	開放マクロ経済学, 開発経済学, 国際経済関係論
	講師	大野 絢也	2501	木曜・4時限	中国近現代史, 現代中国研究, 東アジア国際関係史
	講師	山本 健介	3303	木曜・4時限	中東地域研究, パレスチナ/イスラエル研究
	助教	北野 嘉章	3221	月曜・5時限	国際組織法
国際社会・ 文化研究分野	教授	飯野 勝己	3210	水曜・3時限 (前期のみ)	哲学, 言語哲学, コミュニケーション論, 倫理学
	教授	石井 由香	3207	月曜・2時限	国際社会学
	教授	犬塚 協太	3209	火曜・2時限	家族社会学, ジェンダー社会学, 歴史社会学
	教授	湖中 真哉	2607		文化人類学, アフリカ地域研究
	教授	高畑 幸	3203	木曜・1時限	都市社会学, 民族関係論, 在日外国人研究
	准教授	孫 暁剛	3202	水曜・2時限	生態人類学, 人文地理学, アフリカ地域研究
	准教授	坪田 光平	2608	金曜・3時限	移民研究, マイノリティ論, 教育社会学
	講師	二羽 泰子	3205	水曜・3時限	クロス・マイノリティ研究, 共生の社会学, 国際民族文化研究, 障害学

国際関係学研究科研究分野別教員名簿

比較文化専攻					
研究分野	職名	氏名	研究室	オフィス・アワー	専門分野
日本文化研究分野	教授	澤崎 宏一	3502	金曜・4時限	文処理論, 第二言語習得等
	教授	竹部 歩美	3401	月曜・3時限	国語学・国語史
	教授	細川 光洋	3402	火曜・2時限	日本近代文学
	教授	吉田 真樹	3503	水曜・5時限	倫理学・日本倫理思想史
	准教授	木澤 景	3501	水曜・5時限	日本倫理思想
	准教授	酒井 彩	3511	木曜・2時限	日本語教育
	准教授	鈴木 さやか	3301	水曜・2時限	日本古典文学
アジア文化研究分野	教授	奥蘭 秀樹	3409	火曜・5時限	現代韓国政治外交, 朝鮮半島をとりまく国際関係
	教授	小針 進	3405	月曜・5時限	現代韓国・朝鮮社会論, 北東アジア地域研究
	教授	奈倉 京子	3406	火曜・2時限	文化人類学, 中国地域研究
	教授	米野 みちよ	3411	月曜・4時限	東南アジア文化, 音楽学, 文化人類学
	准教授	塩崎 悠輝	3407	水曜・3時限	東南アジア地域研究, 地域協力論, 宗教学
	准教授	堀内 賢志	3412	月曜・3時限	現代ロシア政治・外交
	助教	吉田 航太	3311	火曜・2時限	東南アジア地域研究, 文化人類学, 科学技術社会論
英米文化研究分野	教授	栗田 和典	3512	木曜・4時限	近代イギリス史
	教授	澤田 敬人	2504	月曜・5時限	比較国際教育学, 教育社会学, オーストラリア研究
	教授	須田 孝司	3507	木曜・1時限	第二言語習得, 応用言語学
	教授	寺尾 康	2502	木曜・5時限	心理言語学, 音韻論, 認知科学
	教授	長野 明子	3504	月曜/水曜・5時限	対照言語学, 形態論, 語形成
	教授	ポール・リダン	3510	木曜・2時限	応用言語学
	准教授	田村 敏広	3508	月曜・3時限	認知言語学, 意味論, 語用論
	准教授	ジョナサン・ディハーン	3505	月曜/火曜・2時限	教育言語工学
	准教授	望戸 愛果	3506	月曜・4時限	アメリカ史, 歴史社会学
	准教授	米山 優子	3509	木曜・2時限	イギリス文化・文学, 社会言語学
ヨーロッパ文化研究分野	教授	剣持 久木	2503	火曜・2時限	フランス現代史, 公共史
	教授	園田 明人	2604	木曜・2時限	心理学
	教授	橋本 勝	2403	水曜・3時限	教育社会学
	教授	松森 奈津子	2603	月曜・1時限	政治思想史, 地域研究(スペイン), 国際関係論
	准教授	小谷 民菜	2506	月曜・4時限	ドイツ文学
	准教授	橋川 裕之	2602	火曜・2時限	ヨーロッパ古代中世史, 文学と美術
	准教授	マティアス・ファイファー	2507		文芸社会学, 文化社会学
	准教授	森 直香	2601	水曜・3時限	スペイン文学・文化, 比較文学
	講師	西村 晶絵	3408	水曜・3時限	フランス文学

## (2024年度以降入学生用) 履 修 案 内

### ■国際関係学研究科の教育理念

国際関係学研究科は、地球規模の諸関係の緊密化が進む今日の世界において、国際的な俯瞰力と国際関係に関連する専門力により、国際社会や地域社会における諸課題を探究できる能力を育成し、それを活用して、教育・研究機関、官庁、民間企業、NGO・NPO等の国際社会や地域社会の多様な現場で活躍できる人材を育成することを理念とします。また、純粋に国際関係に関連する高度な専門知を学びたいという社会人や市民のニーズに応えます。

### ■国際関係学研究科の教育目標

本研究科は、上記の教育理念の実現に必要とされる専門的知識と研究技法を修得し、修了後、それを活用して国際社会や地域社会における諸課題を探究できる能力を育成することを教育目標とします。国境を越えた研究の視座の獲得のために国際関係学専攻、文化や言語の比較研究の視座の獲得のために比較文化専攻を設置して、国際的な俯瞰力の育成に力点を置いています。また、多様な専門分野による教育課程を配置することで、専門性と学際性を併せ持つ人材の育成を目指します。

### ■国際関係学研究科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

#### 国際関係学専攻

本専攻は、教育理念・目標に掲げた「国際社会や地域社会における諸課題を探究できる能力」の内容を以下の通り定めています。

1. 専門分野の文献を適切に理解・評価し、研究報告を行うことのできる能力。
2. 専攻した専門分野の知識と方法論を修得し、それを国際的な俯瞰力とともに活用できる能力。とくに、国際関係学専攻においては国境を越えた研究の視座を修得していること。
3. 研究や調査の遂行に必要なとされる学術的な外国語の能力。
4. 国際関係に関連する妥当な研究テーマを設定し、それに沿って一貫した論旨を展開できる能力。
5. 先行研究を踏まえて、自らの研究内容の独自性を提示し、展開できる能力。
6. 自らの研究内容について口頭で適切な説明と応答ができる能力。
7. 研究倫理について十分に配慮できる能力。

研究科規程に記載された修了要件を満たした大学院生を上記の能力を身につけた者と認め、修士の学位を授与します。

## 比較文化専攻

本専攻は、教育理念・目標に掲げた「国際社会や地域社会における諸課題を探究できる能力」の内容を以下の通り定めています。

1. 専門分野の文献を適切に理解・評価し、研究報告を行うことのできる能力。
2. 専攻した専門分野の知識と方法論を修得し、それを国際的な俯瞰力とともに活用できる能力。とくに、比較文化専攻においては、文化や言語を比較研究できる視座を修得していること。
3. 研究や調査の遂行に必要なとされる学術的な外国語の能力。
4. 国際関係に関連する妥当な研究テーマを設定し、それに沿って一貫した論旨を展開できる能力。
5. 先行研究を踏まえて、自らの研究内容の独自性を提示し、展開できる能力。
6. 自らの研究内容について口頭で適切な説明と応答ができる能力。
7. 研究倫理について十分に配慮できる能力。

研究科規程に記載された修了要件を満たした大学院生を上記の能力を身につけた者と認め、修士の学位を授与します。

### ■国際関係学研究科の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

学位授与の方針に示される能力を有する人材を育成するために、国際関係学研究科は、以下の方針に基づき、教育課程を編成しています。

1. 本研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育課程を体系的、順次的に編成する方針をとります。修士課程一年次はコースワーク中心で学び、二年次ではリサーチワーク中心に移行します。
2. コースワークをおもに共通科目と専門科目から編成し、学術的な文献理解能力、研究報告能力の鍛錬と同時に、専門的知識と研究の方法論を修得することを目指します。専門科目は専門性を深めるために6つの研究分野ごとに編成されており、共通科目では専攻に必要な重点的能力を修得します。
3. コースワークの中心となる研究分野ごとの専門科目は学際的に編成されており、研究の視野を拡げることを方針とします。また、所属研究分野外の科目も履修することも可能で、知識を学際的に修得できるように配慮されています。
4. リサーチワークは、各研究分野で開講されている演習科目、およびフィールドワークにおいて行う方針です。適切な研究テーマを設定し、それに沿って一貫した論旨を展開できる能力、先行研究を踏まえて自らの研究内容の独自性を提示し、展開できる能力を身につけます。
5. コースワークの評価はシラバスに明記された各授業の評価基準にそって行います。リサーチワークの評価のために、中間報告、および口述審査を行い、審査基準に基づき修士論文、あるいは特定の研究課題成果を審査します。また、教育課程全体の評価方針として、コースワーク、およびリサーチワークのルー

ブリックによる評価を実施します。

6. 教員専修免許状（国語、英語）等、各種の資格等に必要となる科目を設置します。
7. 学術的な外国語能力の修得のための科目を設置します。また、留学生を対象とした日本語修士論文執筆指導の体制を整えます。

## ■ 修了要件と履修方法

### 【修了要件】

在学期間中に、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文または課題研究の審査及び試験に合格することとする。また、これらに加えて、研究科が定めるルーブリックを用いた評価を受けなければならない。

### 【履修方法】

#### 国際関係学専攻

次に掲げる科目のうちから合計 30 単位以上を修得すること。

- (1) 共通科目 4 単位以上
- (2) 自分が所属する研究分野の専門科目 16 単位以上（ただし、国際関係学演習ⅠA・B、同ⅡA・Bを必ず含まなければならない。）
- (3) 国際関係学専攻の研究分野のうちの(2)以外の専門科目
- (4) 指導教員及び担当教員が必要と認めた場合には、他の専攻の共通科目・専門科目
- (5) 指導教員が必要と認めた場合には、他の研究科及び他の大学院の授業科目（当該研究科および当該大学院との協議の上で、合わせて10単位を上限とする。）

#### 比較文化専攻

次に掲げる科目のうちから合計 30 単位以上を修得すること。

- (1) 共通科目 4 単位以上
- (2) 自分が所属する研究分野の専門科目 16 単位以上（ただし、それぞれの研究分野で指定された演習ⅠA・B、演習ⅡA・Bを必ず含まなければならない。）
- (3) 比較文化専攻の研究分野のうちの(2)以外の専門科目
- (4) 指導教員及び担当教員が必要と認めた場合には、他の専攻の共通科目・専門科目
- (5) 指導教員が必要と認めた場合には、他の研究科及び他の大学院の授業科目（当該研究科および当該大学院との協議の上で、合わせて10単位を上限とする。）

## ■ フィールドワークの履修方法

「フィールドワーク」は学則上の特別実習として位置づけられている。単位数は 2 単位であり、単位の認定は、原則として、単位を修得しようとする学生の主指導教員

がおこなう。単位が認定される要件の概要は以下のとおりである。

(1) 研究対象の現実を自然状況下で理解しようとする調査（フィールドワーク）を実施する。ただし、単位を修得しようとする学生が履修中のその他の科目の授業の一部として実施される調査は含めない。フィールドワークをおこなう学生は、現地（研究対象となる個人または集団が行動・生活している場所や研究対象となる事象が生じている場所）を実際に訪れ、対象を直接観察あるいは参与観察し、必要に応じて聞き取り等をおこなう。

(2) 実施前には実施計画書（様式1）、実施後には実施概要報告書（様式2）を提出する。実施計画書および実施概要報告書はユニバーサルパスポートからダウンロードできる。いずれも提出先は学生室とする。また、別途、成果物の提出が求められることもある。

(3) フィールドワーク実施の期間は要件として特に定めない。実際に調査に従事する期間が1週間以上になることを目安とする。

#### ■ループリック評価

ループリック表を用いた評価は、授業等の成績評価とは別に、コースワークとリサーチワークそれぞれで達成すべき目標を確認し、その達成度を指導教員と学生がともに評価するものである。コースワーク・ループリックは、1年次の前期開始時期と後期開始時期に指導教員が説明し、1年次の前期末と後期末に評価を実施する。リサーチワーク・ループリックは、2年次の前期開始時期と後期開始時期に指導教員が説明し、2年次の中間報告終了後と口述審査終了後に評価を実施する。

#### ■資格取得等

##### 【国語・英語教員専修プログラム】

専修免許状の取得要件は、一種免許状取得に必要な単位を修得しているほか、国語については日本文化研究分野、英語については英米文化研究分野のそれぞれ＊印の科目から選択して合計で24単位以上を修得しなければならない。科目はA・Bの順で履修すること。

##### 【日本語教師養成プログラム】＊

日本語教師養成プログラム単位修得証明書の発行に必要な単位は、★印の科目を必修とし、ほかに「日本文化」・「英米文化」の両分野から☆印の科目を選択して（「国際社会・文化分野」の「コミュニケーション研究ⅠA・B」「コミュニケーション研究ⅡA・B」を含む）合計で24単位以上を修得しなければならない。科目はA・Bの順で履修すること。

なお、「国語・英語教員専修プログラム」を選択している者が、「日本語教師養成プログラム」の修了証を得ようとする場合、「日本語教育学研究ⅠA・B」、「日本語教育学研究ⅡA・B」の単位を修得するとともに、国語においては「英米文化分野」の☆印か

ら 4 科目の単位を修得しなければならない。

※本プログラムは、法務省が定めた「日本語教育機関の告示基準」で求められた日本語教育に関する教育課程ではありません。本研究科で独自に設けた日本語教師養成プログラムです。

## (2023年度以前入学生用) 履 修 案 内

### ■国際関係学研究科の教育理念

国際関係学研究科は、地球規模の諸関係の緊密化が進む今日の世界において、国際的な俯瞰力と国際関係に関連する専門力により、国際社会や地域社会における諸課題を探究できる能力を育成し、それを活用して、教育・研究機関、官庁、民間企業、NGO・NPO等の国際社会や地域社会の多様な現場で活躍できる人材を育成することを理念とします。また、純粋に国際関係に関連する高度な専門知を学びたいという社会人や市民のニーズに応えます。

### ■国際関係学研究科の教育目標

本研究科は、上記の教育理念の実現に必要とされる専門的知識と研究技法を修得し、修了後、それを活用して国際社会や地域社会における諸課題を探究できる能力を育成することを教育目標とします。国境を越えた研究の視座の獲得のために国際関係学専攻、文化や言語の比較研究の視座の獲得のために比較文化専攻を設置して、国際的な俯瞰力の育成に力点を置いています。また、多様な専門分野による教育課程を配置することで、専門性と学際性を併せ持つ人材の育成を目指します。

### ■国際関係学研究科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

#### 国際関係学専攻

本専攻は、教育理念・目標に掲げた「国際社会や地域社会における諸課題を探究できる能力」の内容を以下の通り定めています。

1. 専門分野の文献を適切に理解・評価し、研究報告を行うことのできる能力。
2. 専攻した専門分野の知識と方法論を修得し、それを国際的な俯瞰力とともに活用できる能力。とくに、国際関係学専攻においては国境を越えた研究の視座を修得していること。
3. 研究や調査の遂行に必要とされる学術的な外国語の能力。
4. 国際関係に関連する妥当な研究テーマを設定し、それに沿って一貫した論旨を展開できる能力。
5. 先行研究を踏まえて、自らの研究内容の独自性を提示し、展開できる能力。
6. 自らの研究内容について口頭で適切な説明と応答ができる能力。
7. 研究倫理について十分に配慮できる能力。

研究科規程に記載された修了要件を満たした大学院生を上記の能力を身につけた者と認め、修士の学位を授与します。

## 比較文化専攻

本専攻は、教育理念・目標に掲げた「国際社会や地域社会における諸課題を探究できる能力」の内容を以下の通り定めています。

1. 専門分野の文献を適切に理解・評価し、研究報告を行うことのできる能力。
2. 専攻した専門分野の知識と方法論を修得し、それを国際的な俯瞰力とともに活用できる能力。とくに、比較文化専攻においては、文化や言語を比較研究できる視座を修得していること。
3. 研究や調査の遂行に必要なとされる学術的な外国語の能力。
4. 国際関係に関連する妥当な研究テーマを設定し、それに沿って一貫した論旨を展開できる能力。
5. 先行研究を踏まえて、自らの研究内容の独自性を提示し、展開できる能力。
6. 自らの研究内容について口頭で適切な説明と応答ができる能力。
7. 研究倫理について十分に配慮できる能力。

研究科規程に記載された修了要件を満たした大学院生を上記の能力を身につけた者と認め、修士の学位を授与します。

## ■国際関係学研究科の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

学位授与の方針に示される能力を有する人材を育成するために、国際関係学研究科は、以下の方針に基づき、教育課程を編成しています。

1. 本研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育課程を体系的、順次的に編成する方針をとります。修士課程一年次はコースワーク中心で学び、二年次ではリサーチワーク中心に移行します。
2. コースワークをおもに共通科目と専門科目から編成し、学術的な文献理解能力、研究報告能力の鍛錬と同時に、専門的知識と研究の方法論を修得することを目指します。専門科目は専門性を深めるために6つの研究分野ごとに編成されており、共通科目では専攻に必要な重点的能力を修得します。
3. コースワークの中心となる研究分野ごとの専門科目は学際的に編成されており、研究の視野を拡げることを方針とします。また、所属研究分野外の科目も履修することも可能で、知識を学際的に修得できるように配慮されています。
4. リサーチワークは、各研究分野で開講されている演習科目、およびフィールドワークにおいて行う方針です。適切な研究テーマを設定し、それに沿って一貫した論旨を展開できる能力、先行研究を踏まえて自らの研究内容の独自性を提示し、展開できる能力を身につけます。
5. コースワークの評価はシラバスに明記された各授業の評価基準にそって行います。リサーチワークの評価のために、中間報告、および口述審査を行い、審査基準に基づき修士論文、あるいは特定の研究課題成果を審査します。また、教育課程全体の評価方針として、コースワーク、およびリサーチワークのルー

ブリックによる評価を実施します。

6. 教員専修免許状（国語、英語）等、各種の資格等に必要となる科目を設置します。
7. 学術的な外国語能力の修得のための科目を設置します。また、留学生を対象とした日本語修士論文執筆指導の体制を整えます。

## ■ 修了要件と履修方法

### [修了要件]

在学期間中に、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文または課題研究の審査及び試験に合格することとする。また、これらに加えて、研究科が定めるルーブリックを用いた評価を受けなければならない。

### [履修方法]

#### 国際関係学専攻

次に掲げる科目のうちから合計30単位以上を修得すること。

- (1) 自分が所属する研究分野の専門科目20単位以上（ただし、国際関係学演習ⅠA・B、同ⅡA・Bを必ず含まなければならない。）
- (2) 国際関係学専攻の研究分野のうちの（1）以外の専門科目
- (3) 指導教員及び担当教員が必要と認めた場合には、他の専攻の共通科目・専門科目
- (4) 指導教員が必要と認めた場合には、他の研究科及び他の大学院の授業科目（当該研究科および当該大学院との協議の上で、合わせて10単位を上限とする。）

#### 比較文化専攻

次に掲げる科目のうちから合計 30 単位以上を修得すること。

- (1) 共通科目 4 単位以上
- (2) 自分が所属する研究分野の専門科目 16 単位以上（ただし、それぞれの研究分野で指定された演習ⅠA・B、演習ⅡA・Bを必ず含まなければならない。）
- (3) 比較文化専攻の研究分野のうちの（2）以外の専門科目
- (4) 指導教員及び担当教員が必要と認めた場合には、他の専攻の共通科目・専門科目
- (5) 指導教員が必要と認めた場合には、他の研究科及び他の大学院の授業科目（当該研究科および当該大学院との協議の上で、合わせて 10 単位を上限とする。）

## ■ フィールドワークの履修方法

「フィールドワーク」は学則上の特別実習として位置づけられている。単位数は 2 単位であり、単位の認定は、原則として、単位を修得しようとする学生の主指導教員

がおこなう。単位が認定される要件の概要は以下のとおりである。

(1) 研究対象の現実を自然状況下で理解しようとする調査（フィールドワーク）を実施する。ただし、単位を修得しようとする学生が履修中のその他の科目の授業の一部として実施される調査は含めない。フィールドワークをおこなう学生は、現地（研究対象となる個人または集団が行動・生活している場所や研究対象となる事象が生じている場所）を実際に訪れ、対象を直接観察あるいは参与観察し、必要に応じて聞き取り等をおこなう。

(2) 実施前には実施計画書（様式1）、実施後には実施概要報告書（様式2）を提出する。実施計画書および実施概要報告書はユニバーサルパスポートからダウンロードできる。いずれも提出先は学生室とする。また、別途、成果物の提出が求められることもある。

(3) フィールドワーク実施の期間は要件として特に定めない。実際に調査に従事する期間が1週間以上になることを目安とする。

#### ■ループリック評価

ループリック表を用いた評価は、授業等の成績評価とは別に、コースワークとリサーチワークそれぞれで達成すべき目標を確認し、その達成度を指導教員と学生がともに評価するものである。コースワーク・ループリックは、1年次の前期開始時期と後期開始時期に指導教員が説明し、1年次の前期末と後期末に評価を実施する。リサーチワーク・ループリックは、2年次の前期開始時期と後期開始時期に指導教員が説明し、2年次の中間報告終了後と口述審査終了後に評価を実施する。

#### ■資格取得等

##### 【国語・英語教員専修プログラム】

専修免許状の取得要件は、一種免許状取得に必要な単位を修得しているほか、国語については日本文化研究分野、英語については英米文化研究分野のそれぞれ＊印の科目から選択して合計で24単位以上を修得しなければならない。科目はA・Bの順で履修すること。

##### 【日本語教師養成プログラム】＊

日本語教師養成プログラム単位修得証明書の発行に必要な単位は、★印の科目を必修とし、ほかに「日本文化」・「英米文化」の両分野から☆印の科目を選択して（「国際社会・文化分野」の「コミュニケーション研究ⅠA・B」「コミュニケーション研究ⅡA・B」を含む）合計で24単位以上を修得しなければならない。科目はA・Bの順で履修すること。

なお、「国語・英語教員専修プログラム」を選択している者が、「日本語教師養成プログラム」の修了証を得ようとする場合、「日本語教育学研究ⅠA・B」、「日本語教育学研究ⅡA・B」の単位を修得するとともに、国語においては「英米文化分野」の☆印か

ら 4 科目の単位を修得しなければならない。

※本プログラムは、法務省が定めた「日本語教育機関の告示基準」で求められた日本語教育に関する教育課程ではありません。本研究科で独自に設けた日本語教師養成プログラムです。

授業科目一覧 (2024年度以後入学生)

国際関係学専攻 共通科目・専門科目							
研究分野	授業科目		年次	単位	担当教員	曜日・時限	備考
共通科目		国際政治研究A		2	小窪	水4	4単位以上必要
		国際政治研究B		2	浜	水4	
		地域研究A・B		各2	山本	木5	
		国際行動研究A・B		各2	高畑	金4	
		文化人類学研究法A・B		各2	富沢	水3	
国際政治・開発研究分野	専門科目	国際政治学研究IA・B		各2	佐藤	水5	
		国際政治学研究IIA・B		各2	山下	木3	
		中国政治外交研究A・B		各2	大野	水2	
		朝鮮半島政治外交研究A・B		各2	奥菌	水5	
		日本政治外交研究IA・B		各2	前山	水2	
		日本政治外交研究IIA・B		各2	A 今年度開講せず B 森山	B 後期木2	
		EU政治研究A・B		各2	小窪	月5	
		広域ヨーロッパ研究A・B		各2	浜	木4	
		国際法研究IA・B		各2	坂巻	火2	
		国際法研究IIA・B		各2	石川	木3	
		国際経済学研究IA・B		各2	今年度開講せず		
		国際経済学研究IIA・B		各2	今年度開講せず		
		国際開発研究IA・B		各2	飯野光	月2	
		国際開発研究IIA・B		各2	今年度開講せず		
		国際金融研究IA・B		各2	今年度開講せず		
		国際金融研究IIA・B		各2	今年度開講せず		
		国際経営研究IA・B		各2	今年度開講せず		
		国際経営研究IIA・B		各2	宮崎	木4	
		国際関係学演習IA・B	1	各1	指導教員		
		国際関係学演習IIA・B	2	各1	指導教員		
フィールドワーク		2	指導教員				
国際社会・文化研究分野	専門科目	国際社会研究IA・B		各2	今年度開講せず		
		国際社会研究IIA・B		各2	石井	水2	
		国際社会研究IIIA・B		各2	二羽	月1	
		国際社会研究IIIA・B		各2	今年度開講せず		
		コミュニケーション研究IA・B ☆		各2	今年度開講せず		
		コミュニケーション研究IIA・B ☆		各2	飯野勝	A 前期木2 B 前期木5	
		現代社会研究IA・B		各2	犬塚	月4	
		現代社会研究IIA・B		各2	渡邊	月3	
		現代社会研究IIIA・B		各2	坪田	水3	
		文化人類学研究A・B		各2	孫	水5	
		行動計量学研究A・B		各2	坪田	火2	
		国際関係学演習IA・B	1	各1	指導教員		
		国際関係学演習IIA・B	2	各1	指導教員		
		フィールドワーク		2	指導教員		

比較文化専攻 共通科目・専門科目							
研究分野	授業科目		年次	単位	担当教員	曜日・時限	備考
	共通科目	比較文化研究A・B		各2	富澤	水3	4単位以上必修
		比較言語研究A・B		各2	長野	月3	
		比較思想研究A・B		各2	木澤	水2	
日本文化研究分野	専門科目	日本文化研究A・B ☆		各2	木澤	水3	
		比較宗教研究A・B		各2	吉田真	水4	
		日本文化史研究A・B ☆		各2	今年度開講せず		
		日本思想史研究A・B ☆		各2	今年度開講せず		
		日本文学研究ⅠA・B *		各2	今年度開講せず		
		日本文学研究ⅡA・B *☆		各2	細川	月4	
		日本文学史研究A・B *		各2	鈴木	金2	
		日本文学特殊研究A・B *		各2	今年度開講せず		
		日本語表現研究A・B *☆		各2	今年度開講せず		
		日本語表現特殊研究A・B *☆		各2	澤崎	木2	
		日本語学研究ⅠA・B *☆		各2	竹部	月5	
		日本語学研究ⅡA・B *		各2	今年度開講せず		
		日中関係史研究A・B		各2	今年度開講せず		
		日本語教育学研究ⅠA・B ★		各2	今年度開講せず		
		日本語教育学研究ⅡA・B ★		各2	酒井	金3	
		日本語教育演習 ☆		2	—		
		日本文化演習ⅠA・B	1	各1	指導教員		
		日本文化演習ⅡA・B	2	各1	指導教員		
フィールドワーク		2	指導教員				
アジア文化研究分野	専門科目	アジア地域研究A・B		各2	塩崎	月4	
		東洋思想史研究A・B		各2	今年度開講せず		
		中国文化研究A・B		各2	美麗	金3	
		現代中国研究A・B		各2	今年度開講せず		
		韓国朝鮮社会文化研究A・B		各2	小針	木2	
		韓国朝鮮史研究A・B		各2	小針	木1	
		朝鮮半島政治外交研究A・B		各2	奥菌	水5	
		東南アジア文化研究A・B		各2	米野	水4	
		現代東南アジア研究A・B		各2	塩崎	火2	
		ロシア文化研究A・B		各2	広岡	月4	
		ロシア社会研究A・B		各2	今年度開講せず		
		日露関係研究A・B		各2	堀内	火2	
		東西文化交流史研究A・B		各2	今年度開講せず		
		華僑・華人文化研究A・B		各2	奈倉	水3	
		東南アジア民族学研究A・B		各2	今年度開講せず		
		アジア文化演習ⅠA・B	1	各1	指導教員		
		アジア文化演習ⅡA・B	2	各1	指導教員		
		フィールドワーク		2	指導教員		

比較文化専攻 共通科目・専門科目							
研究分野	授業科目	年次	単位	担当教員	備考	備考	
英米文化研究分野	専門科目	英米文化研究方法論A・B *		各2	栗田・澤田	木2	
		英米文学研究A・B *		各2	米山	水4	
		イギリス文化研究A・B *		各2	有元	水5	
		アメリカ文化研究A・B *		各2	望戸	月5	
		イギリス社会史研究A・B		各2	栗田	木3	
		アメリカ社会史研究A・B		各2	望戸	水5	
		英米社会文化研究A・B		各2	澤田	月3	
		英語学研究A・B *☆		各2	田村	金2	
		英語意味論研究A・B *		各2	田村	月4	
		英語統語論研究A・B *		各2	須田	月2	
		言語機能論研究A・B *☆		各2	長野	水3	
		第二言語習得研究A・B *☆		各2	寺尾	木1	
		外国語教育研究A・B *☆		各2	須田	月1	
		アカデミック・イングリッシュⅠA・B *		各2	デイハーン	水5	
		アカデミック・イングリッシュⅡA・B *		各2	リダン	火2	
		英語教育演習		2	—		
		英米文化演習ⅠA・B	1	各1	指導教員		
		英米文化演習ⅡA・B	2	各1	指導教員		
		フィールドワーク		2	指導教員		
ヨーロッパ文化研究分野	専門科目	ヨーロッパ文化研究ⅠA・B		各2	剣持	火1	
		ヨーロッパ文化研究ⅡA・B		各2	橋川	月3	
		ヨーロッパ思想研究ⅠA・B		各2	松森	火2	
		ヨーロッパ思想研究ⅡA・B		各2	橋川	金3	
		ヨーロッパ思想研究ⅢA・B		各2	ファイファー	水2	
		フランス文学研究A・B		各2	西村	木1	
		フランス文化研究ⅠA・B		各2	剣持	木3	
		フランス文化研究ⅡA・B		各2	今年度開講せず		
		ドイツ文学研究A・B		各2	小谷	月3	
		ドイツ文化研究ⅠA・B		各2	ファイファー	水5	
		ドイツ文化研究ⅡA・B		各2	今年度開講せず		
		人間科学研究A		2	園田	木3	
		人間科学研究B		2	橋本	木3	
		スペイン文学研究A・B		各2	森	木2	
		スペイン文化研究ⅠA・B		各2	今年度開講せず		
		スペイン文化研究ⅡA・B		各2	松森	火1	
		ヨーロッパ文化演習ⅠA・B	1	各1	指導教員		
		ヨーロッパ文化演習ⅡA・B	2	各1	指導教員		
		フィールドワーク		2	指導教員		

授業科目一覧 (2023年度以前入学生)

国際関係学専攻 専門科目							
研究分野	授業科目	年次	単位	担当教員	曜日・時限	備考	
国際政治・開発研究分野	専門科目	国際政治学研究ⅠA・B		各2	佐藤	水5	
		国際政治学研究ⅡA・B		各2	山下	木3	
		国際政治学研究ⅢA		2	小窪	水4	
		国際政治学研究ⅢB		2	浜	水4	
		中国政治外交研究A・B		各2	大野	水2	
		朝鮮半島政治外交研究A・B		各2	奥菌	水5	
		地域研究A・B		各2	山本	木5	
		日本政治外交研究ⅠA・B		各2	前山	水2	
		日本政治外交研究ⅡA・B		各2	A 今年度開講せず B 森山	B 後期木2	
		EU政治研究A・B		各2	小窪	月5	
		広域ヨーロッパ研究A・B		各2	浜	木4	
		国際法研究ⅠA・B		各2	坂巻	火2	
		国際法研究ⅡA・B		各2	石川	木3	
		国際経済学研究ⅠA・B		各2	今年度開講せず		
		国際経済学研究ⅡA・B		各2	今年度開講せず		
		国際開発研究ⅠA・B		各2	飯野光	月2	
		国際開発研究ⅡA・B		各2	今年度開講せず		
		国際金融研究ⅠA・B		各2	今年度開講せず		
		国際金融研究ⅡA・B		各2	今年度開講せず		
		国際経営研究ⅠA・B		各2	今年度開講せず		
		国際経営研究ⅡA・B		各2	宮崎	木4	
国際関係学演習ⅠA・B	1	各1	指導教員				
国際関係学演習ⅡA・B	2	各1	指導教員				
フィールドワーク		2	指導教員				
国際社会・文化研究分野	専門科目	国際行動研究A・B		各2	高畑	金4	
		国際社会研究ⅠA・B		各2	今年度開講せず		
		国際社会研究ⅡA・B		各2	石井	水2	
		国際社会研究ⅢA・B		各2	二羽	月1	
		国際社会研究ⅣA・B		各2	今年度開講せず		
		コミュニケーション研究ⅠA・B ☆		各2	今年度開講せず		
		コミュニケーション研究ⅡA・B ☆		各2	飯野勝	A 前期木2 B 前期木5	
		現代社会研究ⅠA・B		各2	犬塚	月4	
		現代社会研究ⅡA・B		各2	渡邊	月3	
		現代社会研究ⅢA・B		各2	坪田	水3	
		文化人類学研究ⅠA・B		各2	富沢	水3	
		文化人類学研究ⅡA・B		各2	孫	水5	
		行動計量学研究A・B		各2	坪田	火2	
		国際関係学演習ⅠA・B	1	各1	指導教員		
		国際関係学演習ⅡA・B	2	各1	指導教員		
フィールドワーク		2	指導教員				

比較文化専攻 共通科目・専門科目							
研究分野	授業科目	年次	単位	担当教員	曜日・時限	備考	
共通科目	比較文化研究A・B		各2	富澤	水3	4単位以上必修	
	比較言語研究A・B		各2	長野	月3		
	比較思想研究A・B		各2	木澤	水2		
日本文化研究分野	専門科目	日本文化研究A・B ☆		各2	木澤	水3	
		比較宗教研究A・B		各2	吉田真	水4	
		日本文化史研究A・B ☆		各2	今年度開講せず		
		日本思想史研究A・B ☆		各2	今年度開講せず		
		日本文学研究ⅠA・B *		各2	今年度開講せず		
		日本文学研究ⅡA・B *☆		各2	細川	月4	
		日本文学史研究A・B *		各2	鈴木	金2	
		日本文学特殊研究A・B *		各2	今年度開講せず		
		日本語表現研究A・B *☆		各2	今年度開講せず		
		日本語表現特殊研究A・B *☆		各2	澤崎	木2	
		日本語学研究ⅠA・B *☆		各2	竹部	月5	
		日本語学研究ⅡA・B *		各2	今年度開講せず		
		日中関係史研究A・B		各2	今年度開講せず		
		日本語教育学研究ⅠA・B ★		各2	今年度開講せず		
		日本語教育学研究ⅡA・B ★		各2	酒井	金3	
		日本語教育演習 ☆		2	—		
		日本文化演習ⅠA・B	1	各1	指導教員		
		日本文化演習ⅡA・B	2	各1	指導教員		
フィールドワーク		2	指導教員				
アジア文化研究分野	専門科目	アジア地域研究A・B		各2	塩崎	月4	
		東洋思想史研究A・B		各2	今年度開講せず		
		中国文学研究A・B		各2	美麗	金3	
		現代中国研究A・B		各2	今年度開講せず		
		韓国朝鮮社会文化研究A・B		各2	小針	木2	
		韓国朝鮮史研究A・B		各2	小針	木1	
		朝鮮半島政治外交研究A・B		各2	奥菌	水5	
		東南アジア文化研究A・B		各2	米野	水4	
		現代東南アジア研究A・B		各2	塩崎	火2	
		ロシア文化研究A・B		各2	広岡	月4	
		ロシア社会研究A・B		各2	今年度開講せず		
		ロシア文学研究A・B		各2	今年度開講せず		
		東西文化交流史研究A・B		各2	今年度開講せず		
		華僑・華人文化研究A・B		各2	奈倉	水3	
		東南アジア民族学研究A・B		各2	今年度開講せず		
		アジア文化演習ⅠA・B	1	各1	指導教員		
		アジア文化演習ⅡA・B	2	各1	指導教員		
		フィールドワーク		2	指導教員		

比較文化専攻 共通科目・専門科目							
研究分野	授業科目	年次	単位	担当教員	備考	備考	
英米文化研究分野	専門科目	英米文化研究方法論A・B *		各2	栗田・澤田	木2	
		英米文学研究A・B *		各2	米山	水4	
		イギリス文化研究A・B *		各2	有元	水5	
		アメリカ文化研究A・B *		各2	望戸	月5	
		イギリス社会史研究A・B		各2	栗田	木3	
		アメリカ社会史研究A・B		各2	望戸	水5	
		英米社会文化研究A・B		各2	澤田	月3	
		英語学研究A・B *☆		各2	田村	金2	
		英語意味論研究A・B *		各2	田村	月4	
		英語統語論研究A・B *		各2	須田	月2	
		言語機能論研究A・B *☆		各2	長野	水3	
		第二言語習得研究A・B *☆		各2	寺尾	木1	
		外国語教育研究A・B *☆		各2	須田	月1	
		アカデミック・イングリッシュⅠA・B *		各2	デイハーン	水5	
		アカデミック・イングリッシュⅡA・B *		各2	リダン	火2	
		英語教育演習		2	—		
		英米文化演習ⅠA・B	1	各1	指導教員		
		英米文化演習ⅡA・B	2	各1	指導教員		
		フィールドワーク		2	指導教員		
ヨーロッパ文化研究分野	専門科目	ヨーロッパ文化研究ⅠA・B		各2	剣持	火1	
		ヨーロッパ文化研究ⅡA・B		各2	橋川	月3	
		ヨーロッパ思想研究ⅠA・B		各2	松森	火2	
		ヨーロッパ思想研究ⅡA・B		各2	橋川	金3	
		ヨーロッパ思想研究ⅢA・B		各2	ファイファー	水2	
		フランス文学研究A・B		各2	西村	木1	
		フランス文化研究ⅠA・B		各2	剣持	木3	
		フランス文化研究ⅡA・B		各2	今年度開講せず		
		ドイツ文学研究A・B		各2	小谷	月3	
		ドイツ文化研究ⅠA・B		各2	ファイファー	水5	
		ドイツ文化研究ⅡA・B		各2	今年度開講せず		
		人間科学研究A		2	園田	木3	
		人間科学研究B		2	橋本	木3	
		スペイン文学研究A・B		各2	森	木2	
		スペイン文化研究ⅠA・B		各2	今年度開講せず		
		スペイン文化研究ⅡA・B		各2	松森	火1	
		ヨーロッパ文化演習ⅠA・B	1	各1	指導教員		
		ヨーロッパ文化演習ⅡA・B	2	各1	指導教員		
		フィールドワーク		2	指導教員		

## 修士論文審査・執筆要項

2023年2月21日

静岡県立大学大学院学則第39条、第48条及び第49条、静岡県立大学学位規程第5条、第20条、国際関係学研究科規程第13条及び第14条に基づき、修士論文の審査及び執筆について以下の ように定める。

### 1. 論文提出締切

3月修了予定者：1月16日（日曜、土曜の場合は前日または前々日）17:00

9月修了予定者：6月16日（土曜、日曜の場合は前日または前々日）17:00

とする。

### 2. 提出先

事務局 学生室

### 3. 使用言語

日本語または英語を原則とする。他の言語を使用する場合は研究科委員会で決定する。

### 4. 長さの目安

日本語：40,000字以上 英文要旨（1,000 words 程度）をつけること。

英語：20,000 words 以上 和文要旨（2,000字程度）をつけること。

他の言語：和文・英文に準じるものとし、和文要旨をつけること。

（注意：要旨は字数に算入しない。資料、図表、文献目録などについては指導教員の指示に従う。）

### 5. 書式

A4縦長の用紙を使用し、原則として横組みにする。

余白は上下30ミリ、左右25ミリを標準とする。

文字の大きさは、12ポイントを標準とする。

日本語の場合には1頁に40字×30行、英語の場合には1頁に30行を標準とする。

\*縦書き原稿用紙使用の場合は、コピー・製本の段階でA4規格にする。

### 6. 提出部数

合計4部：製本したもの 3部、未製本のもの（クリップ等で仮留めする。） 1部

\*未製本の上記ものは図書館用

## 7. 審査

### <審査手続き>

#### (1)論文審査員

論文審査員として、主査1名、副査2名を置く。

#### (2)口述審査

日程：

3月修了予定者：1月30日（日曜、土曜の場合は前日または前々日）

9月修了予定者：6月30日（日曜、土曜の場合は前日または前々日）

審査：

主査1名、副査2名によって、原則として日本語または英語を用いて行なう。

公開審査とするが、公開の対象を当面は学内に限る。

被審査者1名の持ち時間は60分程度とする（発表と質疑応答を含む）。

#### (3)再提出

口述審査において論文の再提出を指示された学生は、3月修了予定者は2月10日（日曜、土曜の場合は前日または前々日）17:00までに、9月修了予定者は7月10日（日曜、土曜の場合は前日または前々日）17:00までに、学生室へ再提出する。

再提出論文の審査については別途定めるが、この場合の評価はBまたはCとなる。

#### (4)不合格の場合

修士論文を提出し、口述審査を受け、研究科委員会で不合格の判定が確定した場合、

a) その学期の末日をもって在学期間が4年に達しない学生は、次学期以降、在学期間が4年に達する以前に修士論文を改めて提出し、審査を受け、合格の評価を得れば、在学期間中の30単位以上の取得を確認した上で、修士課程の修了と学位としての「修士」の認定を得ることができる。

b) その学期の末日をもって在学期間が4年に達する学生は、学位としての「修士」を取得できず、退学となる。

### <審査基準>

論文は主査1名、副査2名からなる論文審査員によって査読され、以下の審査項目を総合的に判断して審査される。評価はA、B、C、Dの4段階で行われ、評価C以上が合格となる。

1. 研究テーマの設定が修士論文として妥当であること。
2. 先行研究が必要な限りで把握されており、それをふまえて論が展開されていること。
3. 当該研究領域の理論的見地または実証的見地から見て、独自性を有すること。
4. 当該研究領域における修士としての十分な知識、方法論を習得していること。
5. 問題意識に沿って、論旨が明確で一貫性があること。
6. 論文の記述が十分で、かつ形式面を含めた構成が適切であること。
7. 文献読解や調査研究に必要となる外国語能力が十分なレベルに達していること。

## 8. 中間報告

3月修了予定者については10月の第1火曜日の午後に、9月修了予定者については原則として4月の第4火曜日の午後に、それぞれ中間報告会を開催する。(時間・場所は研究科委員会で確定する。)

修士論文提出予定者はその年度内に中間報告を行い、審査基準に照らした評価を受ける。

## 9. 論文題目

論文題目及び変更届を学生室へ提出する。

題目届の提出期限：

3月修了予定者については5月31日(日曜、土曜の場合は前日または前々日) 17:00

9月修了予定者については4月10日(日曜、土曜の場合は前日または前々日) 17:00

とする。

変更届の提出期限：

3月修了予定者については10月31日(日曜、土曜の場合は前日または前々日) 17:00

9月修了予定者については5月10日(日曜、土曜の場合は前日または前々日) 17:00

とする。

## 特定の研究課題についての研究成果

大学院学則第48条の2および研究科規程第12条の2に基づき、「特定の研究課題についての研究成果」の審査をもって修士論文の審査に代える場合には、「研究成果」の審査等について以下の運用手続きならびに審査基準に従う。

### <運用手続き>

- (1) 「特定の研究課題についての研究成果」をもって修士論文に代える場合は、その旨を修士論文題目提出期限以前に研究科委員会に報告しなければならない。その際、研究課題が以下に示す審査基準の1と3に合致したものであることを示さなければならない。
- (2) 修士論文と同一の日程で中間報告会を行なう。
- (3) 特定の研究課題についての研究成果は、目的・方法・分担・過程・結果を明確かつ詳細に記した「課題研究報告書」を提出しなければならない。「課題研究報告書」は2万字程度を目安とする。ただし、「課題研究報告書」に代えて、または、「課題研究報告書」に付して、映像作品や制作物などを提出することも可能であり、体裁については主指導教員が個別に判断する。これらの成果物を「課題研究報告書」に代えて提出する場合には、成果物についての説明資料を添付しなければならない。
- (4) 「課題研究報告書」あるいは成果物の説明資料の図書館納入については、執筆者と主査の

希望に従うものとする。

(5) 「課題研究報告書」等の提出および再提出の締切日時は修士論文と同一とする。

(6) 主査1名と副査2名が「課題研究報告書」等の提出物を審査し、修士論文と同一の日程で公開の口述審査をおこなう。

#### <審査基準>

特定の研究課題についての研究成果は、主査1名、副査2名からなる審査員によって、修士論文の「審査基準」に準じて設定された以下の審査項目を総合的に判断して審査される。

評価 はA, B, C, Dの4段階で行われ、評価C以上が合格となる。

1. 研究テーマの設定が修士論文に準じるものとして妥当であり、学術的、実践的・実務的、あるいは、社会的・現代的な意義を有すること。
2. 実務的知見や関連する資料、事例、文献等についての独自の調査に基づいて論が展開されていること。
3. 研究成果が、国際関係または比較文化の分野における新規性、社会的な有用性、あるいは、課題の解決に対する貢献の可能性を有すること。
4. 研究課題についての基礎となる専門的な知識が充分であり、研究方法が適切であること。
5. 問題意識に沿って、論旨が明確で一貫性があり、結論が模索されていること。
6. 研究成果が充分かつ明確に示され、論旨の展開や文章表現等が妥当であること。
7. 研究の倫理が守られていること。

2024年度 国際関係学研究所 研究指導計画

年次	日程 (予定)	標準日程	内容	備考	
1年次 コースワーク中心 文献理解能力と研究報告能力の鍛錬 専門的知識と研究の方法論の修得	4月8日 (月) 13:00~		研究科ガイダンス	3108号室で開催	
	4月9日 (火)		入学式		
	4月 指導開始時		指導教員と学生の学修・研究計画相談	1)コースワーク・ループリックの説明・共有 2) 研究指導と授業履修の方針の相談 3)「演習」日程や「フィールドワーク」の相談 他	
	4月23日 (火) 17:00	*4月頭に確定、掲示	前期履修登録期限 (開始は4月5日 (金) の予定)	指導教員届提出	学生がユニバーサル・パスポートで登録
			国際関係学研究所修士論文指導 (演習Ⅰ) 実施日時届出書提出	指導教員と学生が相談して決定の上、教員が提出 *「フィールドワーク」関連の届は必要な時に提出	
	8月13日 (火) 17:00	8月の第2火曜日	前期コースワーク・ループリック表提出期限	指導教員と学生がともに評価を行い、教員が電子ファイルで提出	
	10月 指導開始時		指導教員と学生の学修・研究計画相談	1)コースワーク・ループリックの説明・共有 2) 研究指導と授業履修の方針の相談 3)「演習」日程や「フィールドワーク」の相談 他	
	10月1日 (火) 午後	10月の第1火曜日の午後	専攻ミーティング (修士論文中間報告会後に実施予定)	修士論文の審査説明、研究倫理講習、キャリアガイダンス等を予定	
	未定 (10月中旬の見通し)	*9月頭に確定、掲示	後期履修登録期限	学生がユニバーサル・パスポートで登録	
2月18日 (火) 17:00	2月の第3火曜日	後期コースワーク・ループリック表提出期限	指導教員と学生がともに評価を行い、教員が電子ファイルで提出		

年次	日程 (予定)	標準日程	内容	備考	
2年次 リサーチワーク中心 適切な研究テーマ設定＋一貫した論旨の展開＋先行研究の把握に基づく独自の研究 修士論文の執筆 (*「特定の研究課題についての研究成果」をもって修士論文に代える)	4月8日 (月) 13:00~		研究科ガイダンス		
	4月10日 (水) 17:00	4月10日：土曜・日曜・祝日の場合は前日または前々日	9月修了予定者：論文題目提出期限		
	4月 指導開始時		指導教員と学生の学修・研究計画相談	1) 研究指導と授業履修の状況確認と相談 2) 修士論文執筆に向けてのリサーチワークの方針相談 3) リサーチワーク・ループリックの説明・共有	
	4月23日 (火) 午後	4月の第4火曜日の午後	9月修了予定者：中間報告会		
	4月23日 (火) 17:00	*4月頭に確定、掲示	前期履修登録期限 (開始は4月5日 (金) の予定)	指導教員変更届提出	学生がユニバーサル・パスポートで登録 変更がある場合のみ
			国際関係学研究所修士論文指導 (演習Ⅱ) 実施日時届出書提出	指導教員と学生の相談で決定の上、教員が提出 *「フィールドワーク」関連の届は必要な時に提出	
	5月10日 (金) 17:00	5月10日：土曜・日曜・祝日の場合は前日または前々日	9月修了予定者：論文題目変更届提出期限		
	5月31日 (金) 17:00	5月31日：土曜・日曜・祝日の場合は前日または前々日	3月修了予定者：論文題目提出期限		
	6月14日 (金) 17:00	6月16日：土曜・日曜・祝日の場合は前日または前々日	9月修了予定者：論文提出締め切り		
	6月28日 (金)	6月30日：土曜・日曜・祝日の場合は前日または前々日	9月修了予定者：口述審査		
	7月10日 (水) 17:00	7月10日：土曜・日曜・祝日の場合は前日または前々日	9月修了予定者：論文再提出締め切り		
	10月 指導開始時		指導教員と学生の学修・研究計画相談	修士論文完成に向けてのリサーチワークの進捗確認・方針相談など	
	10月1日 (火) 午後	10月の第1火曜日の午後	3月修了予定者：中間報告会		
	10月1日 (火) 午後		専攻ミーティング (修士論文中間報告会後に実施予定)	修士論文の審査説明、研究倫理講習、キャリアガイダンス等を予定	
	未定 (10月中旬の見通し)	*9月頭に確定、掲示	後期履修登録期限	学生がユニバーサル・パスポートで登録	
10月15日 (火) 17:00	10月の第3火曜日	中間報告終了後のリサーチワーク・ループリック表提出期限	指導教員と学生がともに評価を行い、教員が電子ファイルで提出		

研究提示・ (期日や時間)	10月31日(木) 17:00	10月31日:土曜・日曜・祝日の場合は前日または前々日	3月修了予定者:論文題目変更届提出期限	
	1月16日(木) 17:00	1月16日:土曜・日曜・祝日の場合は前日または前々日	3月修了予定者:論文提出締め切り	
	1月30日(木)	1月30日:土曜・日曜・祝日の場合は前日または前々日	3月修了予定者:口述審査	
	2月10日(月) 17:00	2月10日:土曜・日曜・祝日の場合は前日または前々日	3月修了予定者:論文再提出締め切り	
	2月10日(月) 17:00	2月の第2火曜日	口述審査終了後のリサーチワーク・ループリッ ク表提出期限	指導教員と学生がともに評価を行い、教員が電 子ファイルで提出
	3月19日(水)		学位記授与式	

## 2024 年度 研究科 共通科目・専門科目 シラバス

- \*授業科目一覧の順になっています
- \*演習科目は入っていません

## 静岡県立大学大学院国際関係学研究科規程

平成19年4月1日 規程第66号

最終改正 令和4年4月1日

(趣旨)

第1条 静岡県立大学大学院国際関係学研究科（以下「研究科」という。）に関する事項については、静岡県立大学大学院学則及び静岡県立大学学位規程に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

(課程及び専攻)

第2条 研究科の課程は、修士課程とする。

2 研究科に、国際関係学専攻及び比較文化専攻を置く。

3 各専攻に専攻長を置く。

(教育方法)

第3条 修士課程の教育は、授業科目の授業及び修士論文等の作成に対する指導によって行うものとする。

(研究指導)

第4条 研究科において、教育研究上有益と認めるときは、研究科委員会の議を経て、修士課程の学生が他大学の大学院又は研究所等において必要な研究指導を受けることを認めることができる。

2 前項の規定により受けた研究指導は、研究科委員会において審査の上、研究科において受けた研究指導とみなすことができる。

(授業科目及び単位数)

第5条 研究科の授業科目及び単位数は、大学院学則の別表（一）国際関係学研究科（修士課程）のとおりとする。

(単位の計算方法)

第6条 授業科目の単位計算方法は、1時間の講義に対し2時間の準備学修を要するものとし、毎週1時間15週の講義をもって1単位とする。

(指導教員)

第7条 学生の履修及び研究等を指導するために、研究科長は研究科委員会の議に基づき、学生ごとに指導教員を定める。

2 指導教員は、研究科担当の専任教授とする。ただし、必要があるときは、准教授とすることができる。

(授業科目の履修)

第8条 学生は、授業科目の履修に当たっては、授業担当教員の承認を受けた上で、指定する期日までに所定の様式により申告しなければならない。

(単位修得の認定)

第9条 授業科目の単位修得の認定は、口答又は筆答の試験若しくは研究報告の審査により、授業担当教員が行う。

- 2 前項に規定する単位修得の認定は、各授業科目の授業の終了する学期末に行う。  
ただし、特別の事情があるときは、その期日を変更することができる。

(成績の評価)

第10条 授業科目の成績は、優、良、可及び不可の4段階に評価し、可以上を合格とする。

(単位修得の証明)

第11条 研究科長は、単位を修得した学生が願い出た場合には、単位修得証明書を交付するものとする。

(修了要件)

第12条 修士課程の修了の要件は、在学期間中に大学院学則の別表(一)国際関係学研究科(修士課程)の定めるところに従って、所定の単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格することとする。また、これらに加えて、研究科が定めるルーブリックを用いた評価を受けなければならない。

- 2 前項の修士論文の審査については、修士課程の目的に応じ適当と認めるときは、特定の研究課題についての研究成果の審査をもって代えることができる。

(学位論文の提出)

第13条 修士課程の学位論文は、指導教員の承認を得て、研究科委員会の定める期日までに提出しなければならない。

(学位論文の審査及び最終試験)

第14条 学位論文の審査及び最終試験は、研究科委員会において選出された論文審査員が行う。

- 2 最終試験は、審査した学位論文を中心として、これに関連する授業科目及び外国語科目について口答又は筆答により行う。

- 3 学位論文及び最終試験についての合格又は不合格の認定は、研究科委員会が論文審査員の報告に基づいて行う。

(学位の授与)

第15条 修士課程の修了者には、静岡県立大学学位規程の定めるところにより、修士(国際関係)又は修士(比較文化)の学位を授与する。

(雑則)

第16条 この規程に定めるもののほか、研究科に関し必要な事項は、研究科委員会が定める。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

2024（令和6）年度  
大学院国際関係学研究科  
履修要項



静岡県立大学

# 目次

1. 令和6年度 静岡県立大学年間授業予定表	1
2. 2024年度 大学院 国際関係学研究科 時間割表(2024年度以降入学生用)	2
(2023年度以前入学生用)	4
3. 国際関係学研究科研究分野別教員名簿	6
4. 履修案内 (2024年度以降入学生用)	8
(2023年度以前入学生用)	13
5. 授業科目一覧 (2024年度以降入学生用)	18
(2023年度以前入学生用)	21
6. 修士論文審査・執筆要項	24
7. 2024年度 国際関係学研究科 研究指導計画	28
8. 2024年度 研究科専門科目・共通科目 シラバス	30
9. 静岡県立大学大学院国際関係学研究科規程	